

# FS-RACING 1/5 エンジンカー ラジコンセッティング方法

## 目 次

1. 商品の確認	Page.1
2. バッテリーを充電しよう！	Page.2
3. ボディをはずします！	Page.3
4. 受信機ボックスとバッテリーボックスの取り外し (RTR の方はすでに作業済みです！)	Page.4
5. 受信機の取付け (RTR の方はすでに作業済みです！)	Page.4
6. 送受信機の操作チェック (RTR の方はすでに作業済みです！)	Page.6
7. エンジンの始動	Page.9
8. いざ、走行！！	Page.13
9. 最後に！！	Page.14

1/5BAJA バギー(FS10201)を例にご説明いたします。作業自体はFSレーシングのラジコンであれば同じです。

## 1. 商品の確認

商品（車体）が到着しましたら、中身を確認して下さい！RTR であれば、送受信機（プロポ）も入っていますよ！

▼こんな箱で到着します！ たいていの方はあまりの大きさにデカすぎ！と感じると思われそうですが、これが1/5サイズなのです！（ちょいちょい箱が破けていたりするのですが、ちゃんと商品は確認しておりますので、ご了承下さい・・・><）



- バッテリー、充電器、取扱説明書、同梱で注文したパーツなど全て揃っているか確認下さい。  
※RTR は送受信機も入っております（受信機は。車体にすでにセットされています）



●余談ですが、パーツの注文は取扱説明書にパーツ表が記載されていますので、そちらで注文パーツの型番を確認して、FS-RACIN 日本正規代理店ホームページ (<http://www.fs-racing.jp/>) からご注文下さい！見当たらない場合は、お気軽にお問い合わせ下さい！内緒の在庫がある場合もありますので！

## 2. バッテリーを充電しよう！

バッテリーは8時間充電で、約20分のご利用が可能です。実際はもっと使用できる感じですが！8時間充電なので、なにはともあれすぐ充電しちゃいましょう！



### 3. ボディをはずします！



- ・ラジオペンチ又はプライヤーなどで、ボディを止めているクリップピンを外します。おっと！クリップは失くしやすいので、小さな箱などに入れるようにいたしましょう！

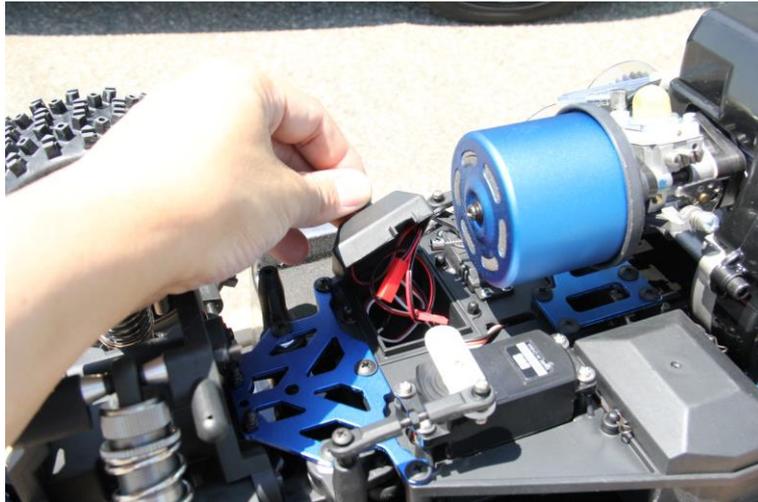


- ・外し終わったら、フレームを外し、ボディを外します。バギーの場合、ちょっとねじるような感じで外します。



▲外したクリップ（丸いのは、バギーのみで側面のクリップの緩衝剤）

#### 4. 受信機ボックスとバッテリーボックスの取り外し (RTRの方はすでに作業済みです!)



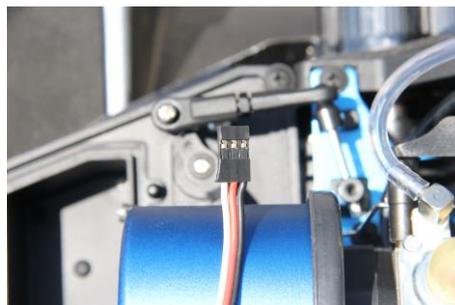
- ・バギーの場合：受信機ボックスとバッテリーボックスのフタを外します。小さなクリップですので失くさないで下さいね！
- ・ツーリングカー/モンスタートラック/デザートトラック：受信機ボックスとバッテリーボックスは合わさって一つだけです。フタはネジ止めされています。

#### 5. 受信機を取付け (RTRの方はすでに作業済みです!)

- ・送受信機 (プロポ) から受信機を取り出します。小さいですね。これで電波を受けるんですね♪わおっ！  
ちなみに、FS-RACING ではサンワ様のMX-V という 2.4Ghz 送受信機を RTR でセットさせてもらっています。サンワさんの送受信機はいいですよ～(´▽`)



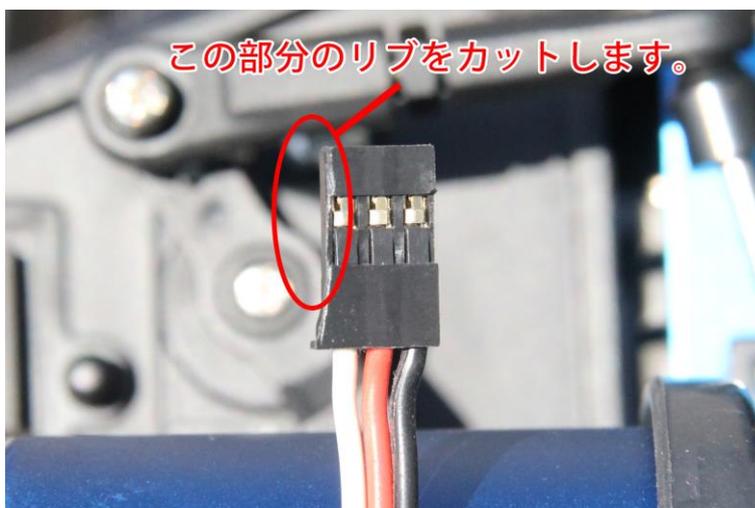
- ・受信機にステアリング制御端子、スロットル制御端子、バッテリー端子を接続します。  
▼端子はこんな感じです。端子の片面に金属端子が見えます。



・まずはステアリング制御端子をつなげましょう！受信機に「ST」（ステアリングの略）と書いてある端子です。ステアリングですので、前輪タイヤを動かすサーボから伸びているコードの端子になります。

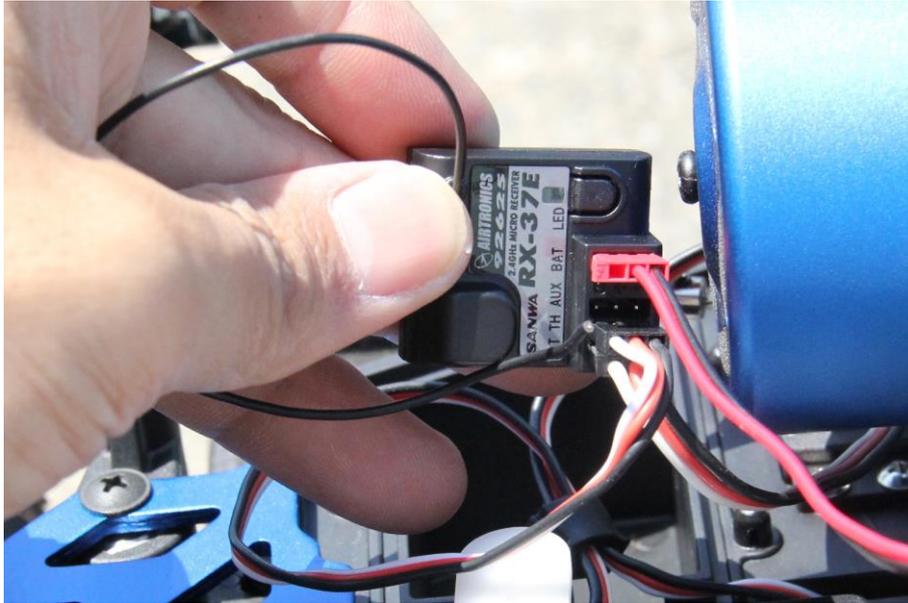


受信機の「ST」を下側に、そしてスロットル制御端子の金属端子が見える面を上にして、接続します。  
あ、あれ？入らない！と思った方はご安心を！モンスタートラックなどでは、端子の横にあるリブをカットする必要があります。細長のリブがある場合はカッター等でそぎ落としてから差込んでください。



・同じように「TH」の部分にスロットル制御端子を差し込みます。スロットルですので、エンジンの回転を制御するサーボから伸びているコードの端子です。ステアリング端子と同じように 受信機の「ST」を下側にして、ステアリング制御端子の金属端子が見える面を上にして、「TH」端子に接続します。

・最後に受信機ボックスのフタから伸びているバッテリーの ON/OFF スwitchの端子を差し込みます（赤いコード）。



▲全部差し込むとこんな感じになります！

## 6. 送受信機の操作チェック（RTRの方はすでに作業済みです！）

・さて、送受信機（プロポ）の操作チェックと調整に入りますよ！

ここまでの作業で、8時間ほどたったと思います。バッテリーも満充電完了ですね！（^v^）  
たってね～よ！（お客様の声） す、すいません・・・30分も経ってないですよ。。

ま、本当は満充電がいいのですが、数時間ほどバッテリーを充電してから作業を進めて下さい(;^v^)

バッテリースイッチの端子にバッテリーをつなぎ、送信機には電池を入れて電源が入るようにして下さい。  
RTRのセットの方は、送信機にちゃんと電池が入ってますよ～。買わなくてもいいですよ～\(^o^)/



・ステアリングの調整。

さて、最初に送信機の電源を入れます。グリップの上の側面に電源スイッチがあります。

次に車体側の電源スイッチを入れます。

※この順番を覚えておいてください！エンジンがかかっている場合、誤走行防止になります。

送信機から、ピ！という音がして、車体からは、ギャシャッ！という音がして、サーボアームが所定の位置に動けばちゃんと通電されています。

それでは、前輪タイヤを左右に動かして見ましょう！ステアリングを動かすと・・・、あれ？動いたけど、逆に動くぞ！  
そうです。送受信機の初期設定では、逆に動いてしまうので、設定をし直す必要があります。

- ・送信機上面の上矢印のスイッチを、液晶に「ST」のマーク、そして大きく「NOR」と表示されるまで、押し続けていきます。



- ・次に上面のマイナススイッチを押して、「NOR」から「REV」に切り替えます。  
(NORMAL (ノーマル：通常) 状態から REVERSE (リバース：逆) にするってことです)



これでどうでしょう？ちゃんと正常に動きましたか？ステアリングホイールを右に回すとタイヤが右に！左に回すと左に！いい感じですか？

- ・ステアリングをまっすぐに！

本来ステアリングホイールを離すと、車体は真っ直ぐに走るようにすべきです。実際に走らせないと微調整は出来ないのですが、ステアリングホイールを操作しない状態でタイヤが左右どちらかに傾いているならば調整する必要があります。

車体の前に立って、前輪が左右微妙に傾いているようなら、「ST」モードの状態ですてアリングホイールのすぐ上の調整ボタンをどちらか押し続けて下さい。サーボが動いて前輪タイヤが微調整されます。

※実際に走行させて、まっすぐに走らせる時も同じ操作になります。



- ・スロットルの確認

スロットルレバーを動かすと、車体のステアリングサーボがギューンギューンと動きます。とりあえず動けばOKです！

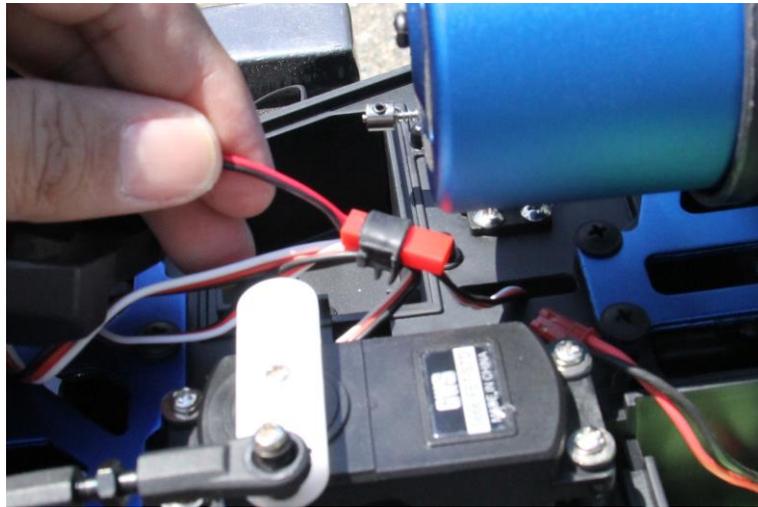


・受信機ボックスとバッテリーボックスの取付け

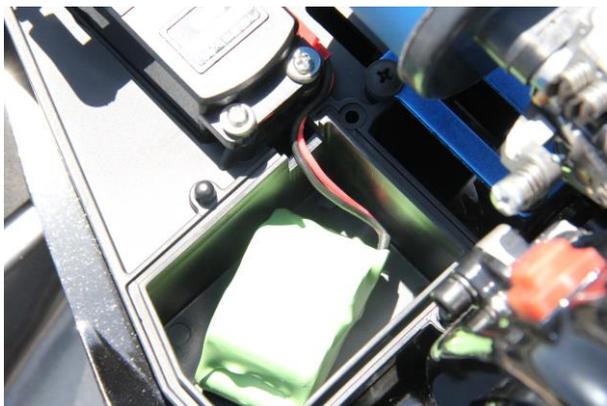
これでとりあえず電装系はOKですので、配線・受信機・バッテリー等を所定のボックスに入れてフタをします。(前にも書きましたけど、バギー以外は受信機とバッテリーは一つのボックスに収めます)

クリップ又はネジを使ってどんどんフタをしちゃいましょう！

※ちょっとしたアドバイスなのですが、バギーの場合、受信機ボックスのはめ込みパッキンにもバッテリーへつながるコードをくぐらせます。受信機ボックスのフタをしたままバッテリー交換ができます。



▼どんどん収めちゃいましょう！



## 7. エンジンの始動

エンジンはガソリンで動きます。知ってるよ！（お客様の声）す、すいません！



詳しく言いますと、草刈り機用等で使用する混合ガソリンとなります。ホームセンターでお買い求め出来ます。あ、ガソリンを買うついでに、注ぎ口の部分も一緒に買っておきましょうね(^▽^)

- ・給油タンクのカップを開けて、ガソリンを入れましょう。



給油をしたら、給油口をしめておきましょうね。

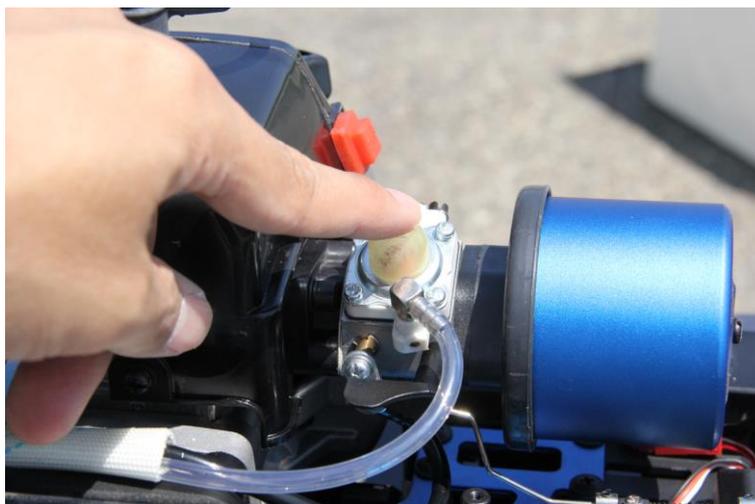
- ・さてさて、いよいよエンジン始動なのですが・・・

タイヤが地面に接地していると、エンジンがかかったときに、急に走り出してしまう可能性がありますので、必ずタイヤを浮かせる状態でエンジンをかけましょう！(・▽・)



▲必ずタイヤを浮かしてエンジンをかけましょう。(作業台も販売していますよ！)

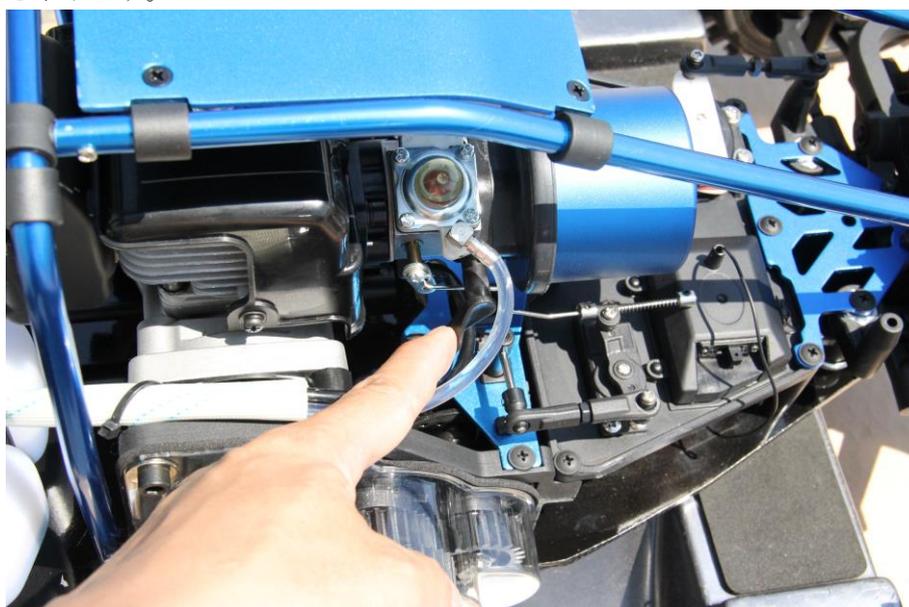
- まずはエンジンにガソリンを循環させます。  
キャブレターについている、給油ポンプを指でポンピングします。



何度かポンピングすると、透明のチューブにガソリンが回ってきます。

※もし、循環しないようであれば、チューブのどこかが折れている可能性がありますので、確認してみてください。

- チョークレバーを下げます。



・さて、心の準備は宜しいですか？^p^

**いよいよ、エンジン始動の時が来ましたよ！**

そしてリコイルスターターを・・・と、その前に！

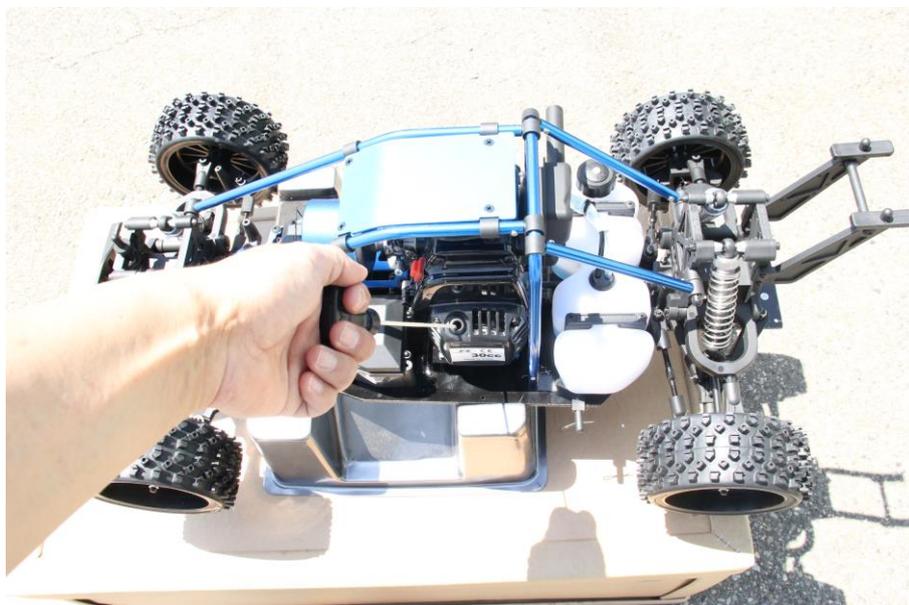
エンジンがかかる前に、止める方法をご説明しないと・・・^^;

エンジンを止めるのは簡単です。エンジンについている赤い四角のボタンを押すと止まります。



では本当にエンジン始動の時が来ました！

車体のルーフを抑えるようにして、リコイルスターターを引っ張ります（下の画像は見やすいように抑えてないですが）。



数回リコイルスターターを引っ張ると、ちょっとエンジンがかかりそうな感じになりませんでしたか？  
仮にエンジンがかかってもすぐに止まると思いますが。

では、チョークを上げて戻してください。

そして、もう一度リコイルスターターを数回引っ張ると・・・

パパパパーーン！という音と共にエンジンがかかるはずですが！キーン(°▽°)ー！  
どうですか？ 1/5 の 30cc エンジンの唸り声！ 心に響きましたか？

一度エンジンを止めて、何回かかけ直してください。

- ・あとは、送受信機の電源を入れて、スロットルを引いてください。



後輪が勢いよく回ると思えます。逆にスロットルを上げるようにすると、ブレーキがかかります。

もしここまでで調子が悪いようであればお問い合わせ下さい。  
(お問い合わせ窓口メール：support@aijyu-group.com)

## 8. いざ、走行！！

さて、走行をするためには、走行できる場所を見つけないといけません。

- ・エンジン音が聞こえても迷惑のかからない場所
- ・人が通らない場所。特に小さなお子様がいない場所
- ・万が一車体がぶつかっても迷惑のかからない場所  
(人や自動車などにぶつかったりしますと、大変危険ですし、迷惑になります)
- ・できれば、車体がぶつかっても車体が壊れないような場所  
(電信柱、看板、街灯、固いものが置いてある場所などはぶつかるとう壊れる可能性があります)

以上の事を考えると、ひとけのない土手や砂浜、営業していないスキー場、普段から使わない駐車場などがいいかと思います。

**ラジコンはバッテリーが無くなっても、エンジンは止まりませんので、そのまま暴走してしまいます。  
様々な危険をあらかじめ予想して、安全な場所で楽しんでいただけるよう、お願い致します。**

初めての走行時は、当然フルスロットルはお止め下さい^^;  
慣れるまでは辛抱ですよ～。

送信機の電源を ON ⇒ 車体バッテリースイッチを ON ⇒ エンジン始動の順で走行準備して下さい。  
エンジンをかけるときは、必ずタイヤを浮かせた状態でかけて下さいね。

左右に走行したり、ブレーキをかけたりして、適切に走行しているか確認して下さい。  
次に、ステアリングを動かさないようにして、まっすぐ進むか確認します。

調整が必要な場合は、**6. 送受信機の操作チェック (RTRの方はすでに作業済みです!)**の「ステアリングをまっすぐに！」をご参照下さい。

## **9. 最後に！！**

みなさん、ここまでで大丈夫でしたか？

FS-RACING の 1/5 エンジンラジコンカーは始動もそんなに難しくはありません。

お仕事で辛いとき、恋人に振られたとき (?)、奥様にうざがられたとき (汗)、

FS-RACING のラジコンはきっとみなさんの心を少年に戻して、爽快にリフレッシュしてくれるはずですよ！(∇`)

14 歳以上のお子様がおられるご家庭なら、普段会話のない思春期まっただ中のお子様と親子の交流が出来ることと思います♪

いつもいつも皆様のラジコンライフが楽しめるように、少しでも後押しが出来て、応援できればと考えています。

FS-RACING 日本正規代理店  
問合せ : support@fs-racing.jp